

学校名 出雲北陵中学校

学年

三年

氏名 白根

洸太

題名	気づいたら、税金がそばにあった
小学生だったある日、僕が住む町で、大きな工事が始まりしました。通学路がしばらく通れなくなっていました、「なんでわざわざ今やるんだろう？」と最初は少し不満に思っていました。でも、その工事が終わってから通ってみると、舗装がきれいになり、夜にはLEDの街灯が照らしてくれました。その時母が「こういうのも税金でやってるんだよ」と言いました。それを聞いて、僕はハッとしました。今まで「税金」大人が払うお金「くらいにしか思っていました。でも、「あれもこれも税金？」と身の回りの景色が変わって見えたのです。	
図書館、公園、学校の教室や体育館。僕が何気なく使っている施設やサービスの多くは税金によつて支えられていますと知り、驚きま	
した。給食や教科書、先生たちのお給料までもが税金でまかなわれていると聞き、毎日当	
たり前のように受けていた教育の重みを初め	

て感じました。また、町内で行われた防災訓練では、みずや保存食消火器の体験などが用意されていきました。これらも税金によって備えられてると知り、「もしものとき」への安心感が生まれました。災害が多い日本では、このような備えが命を守ることにつながります。安心して生活できることは、実は多くの支えがあつてこそなのだと気づきました。

税金は、私の生活を見えないところで支えてくれていきます。安全な道、教育、医療、災害への備え。どれも、社会全体で助け合う少子高齢化が進む中、税金の使い方はますます大切です。一人ひとりが税に関心を持ち、自分ごととして考えていくことが必要だと思えます。私たち中学生は、まだ税金を払う立場ではありません。でも、税金でつくられたものを大切に使うことや、正しい知識を持つことは今からできると思います。壊さないように使う。公共の場所をきれいにする。そんな行動が、税金を大切にすること

将	来	、	税	金	を	納	め	る	立	場	に
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

も
っ
た
い
な
い
ー
と
思
う
の
で
は
な
く
、
「
自
分
の

税金が誰かの助けになっ
ている」と感じられ

る
よ
う
な
人
に
な
り
た
い
で
す
。
税
金
は
、
誰
か
の

暮らしてや未来を支える力にもなるのです。
例

え
ば、
私
が
夢
を
実
現
す
る
た
め
の
進
学
先
や
学
び

の環境も、税金はによって支えられるかも知し

れ
ま
せ
ん
。
そ
う
考
え
る
と
、
税
は
自
分
の
夢
と
も

深く関わっていらるものと気づきました。これ

か	ら	も	、	税	金	に	つ	い	て	知	り	、	学	び	続	け	、	自	分
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の
暮
ら
し
と
の
つ
な
が
り
を
考
え
て
い
こ
う
と
思
い

ま	す	。	そ	し	て	い	つ	か	、	納	め	る	立	場	に	な	つ	た	と
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

き、誇りを持って「社会の一員になった」と
